ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

2013年3月期 第2四半期 決算説明会

（2012年4月1日～2012年9月30日）

「見えないガラス」For タブレット

2012年10月25日

日本電気硝子株式会社

13／3期 2Q 連結決算のポイント

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

概　況	（景気動向） ■ 世界：　欧州危機が中国等へも波及。中国内需の減速、米国の回復遅れ ■ 国内：　震災復興需要、エコカー補助金効果等が景気の下支えに 一方、世界景気の減速、円高影響で環境は厳しい （FPD業界） ■ テレビ・PCの販売は低調も、スマホ・タブレットは堅調 ■ 液晶パネル業界は、1Q以降、稼働率が回復 ➢**液晶ガラス需要は、緩やかに復調**
業　績	累計売上高・・・　1，513億円（前年同期比　330億円減） 営業利益・・・　167億円（　〃　308億円減） ■ 1Q：　前Qを底に回復（液晶、電子部品などの復調） ■ 2Q：　回復基調続く ➢**前年同期比、減収・減益も、1Q、2Qと期を追って業績改善** 総資産・・・　6，732億円（前期末比　138億円減） 自己資本比率・・・　70%（　〃　2ポイント上昇）

Copyrights©2012 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

連結損益計算書

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

（単位：億円）

	12/3期 2Q(累計)	13/3期 2Q（累計）	増減(%)
売上高	1,843	1,513	△ 18
営業利益	475	167	△ 65
経常利益	457	149	△ 67
特別損益	△44	△43	
税前利益	413	105	
純利益	248	46	△ 82
包括利益	243	66	△ 73

1～2Qは回復基調

（上半期概況）

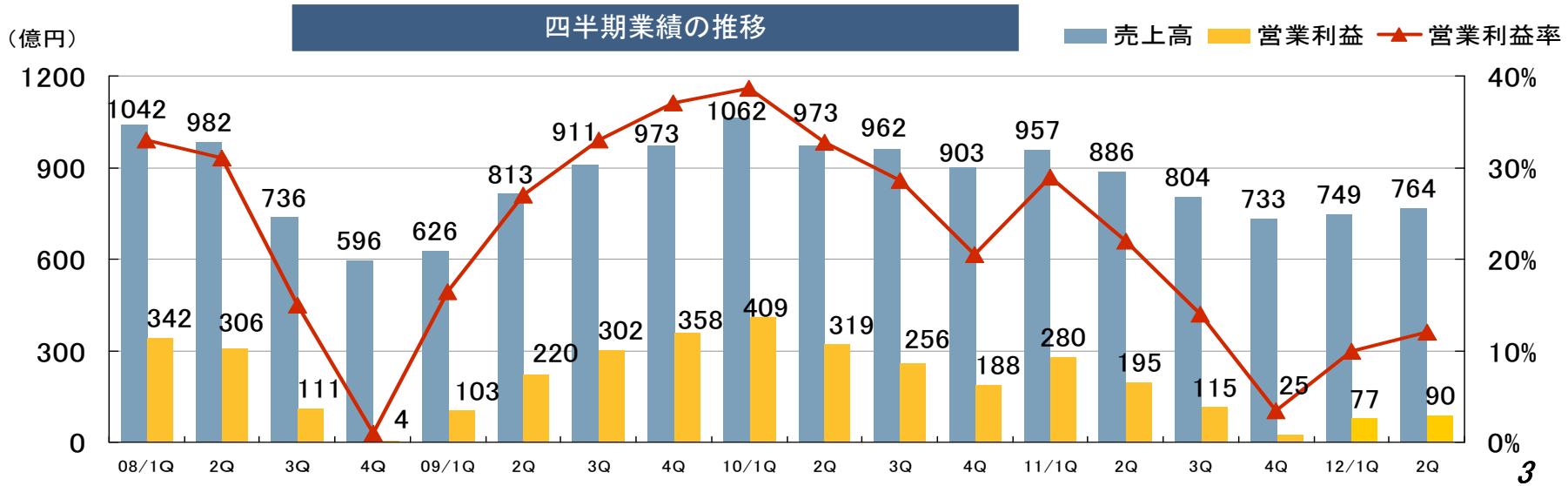
・液晶販売復調、生産性改善（薄板比率向上）

・液晶ガラス価格下落は前期大幅も、
　足下は緩やか

・PDP需要大幅減、耐熱・建築等の低迷

（特別損失関連）

・投資有価証券評価損（1Qに、△41億円）



Copyrights©2012 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

製品別の状況

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

（単位：億円）

		12/3期 2Q(累計)	13/3期 2Q(累計)	増減 (%)
ガラス事業	電子・情報	1,495	1,201	△ 20
	その他	348	311	△ 10
合　計		1,843	1,513	△ 18

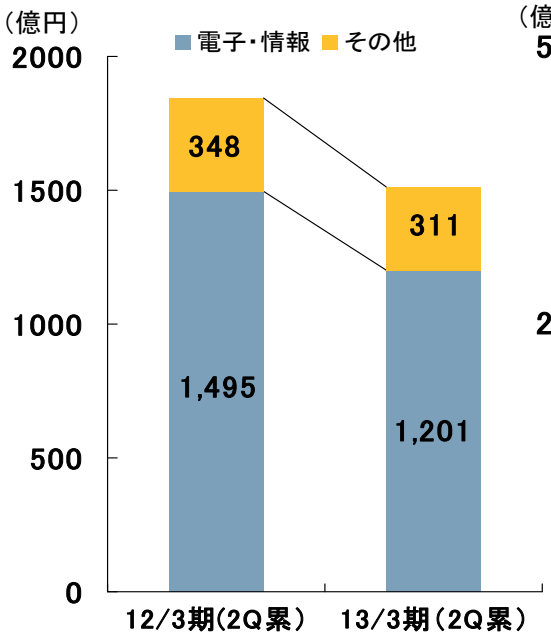
■ 電子・情報

ディスプレイ	液晶：1～2Qにかけ回復 PDP：底這い
電子部品	光：通信インフラ向け堅調 イメージセンサ：一眼カメラ向好調

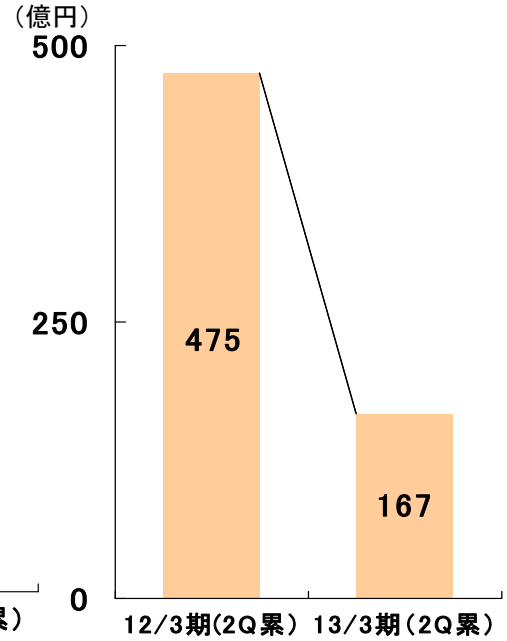
■ その他

ガラスファイバ	年初から堅調、夏場以降、減速
建築・耐熱他	販売低迷

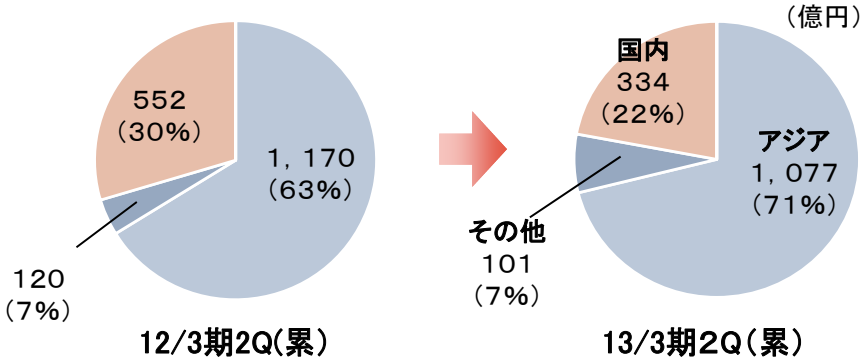
売上高



営業利益



海外売上高



Copyrights©2012 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

連結貸借対照表

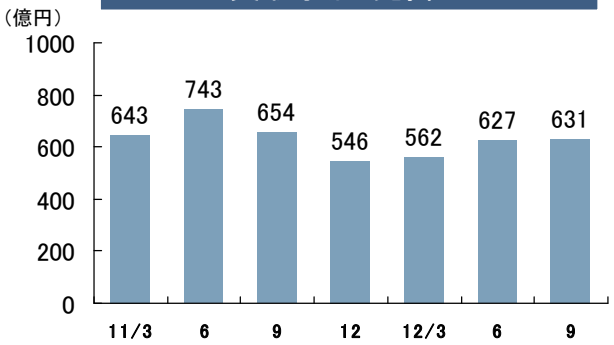
ハイテクガラスで未来をつくる 日本電気硝子

（単位：億円）

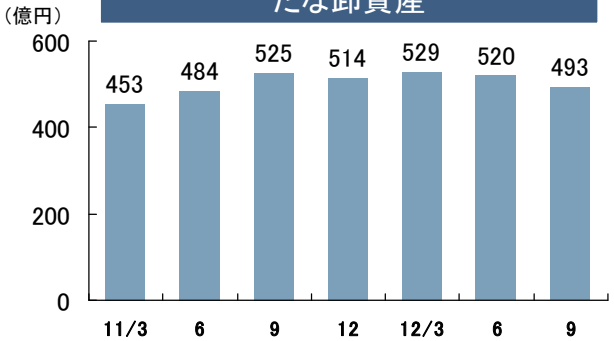
	12/3末	12/9末	増減
流動資産	2,244	2,261	17
現金・預金	1,058	1,043	△14
受取手形・売掛金	562	631	69
たな卸資産	529	493	△35
その他	94	92	△2
固定資産	4,626	4,470	△155
有形固定資産	4,203	4,084	△118
無形固定資産	14	13	△1
投資その他	408	372	△36
合計	6,870	6,732	△138

	12/3末	12/9末	増減
負債	2,113	1,948	△164
支払手形・買掛金	412	405	△6
借入金・社債	868	848	△19
未払法人税等	20	68	47
特別修繕引当金	334	319	△15
その他	478	307	△171
純資産	4,757	4,783	26
株主資本	4,820	4,826	5
その他包括利益累計額	△117	△102	14
少数株主持分	54	59	5
合計	6,870	6,732	△138

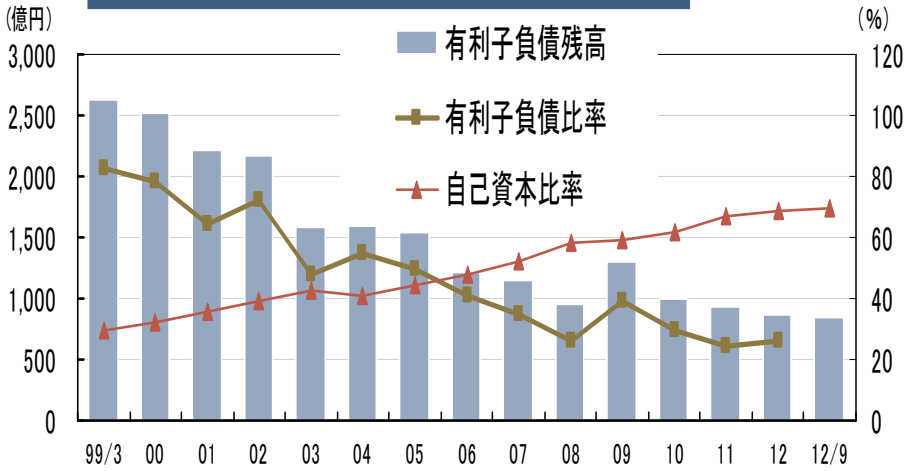
受取手形・売掛金



たな卸資産



有利子負債の推移



12／9の状況

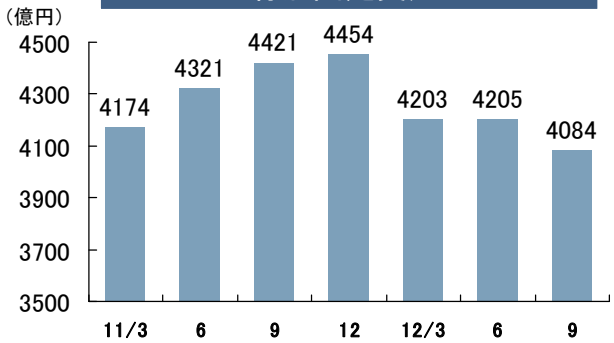
有利子負債

848億円
（12/3末比 △19億円）

自己資本比率

70%
（12/3末　68%）

有形固定資産



Copyrights©2012 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

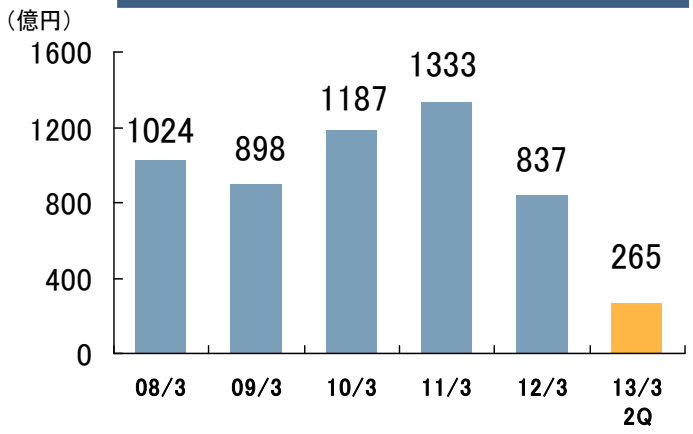
連結キャッシュ・フロー計算書

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

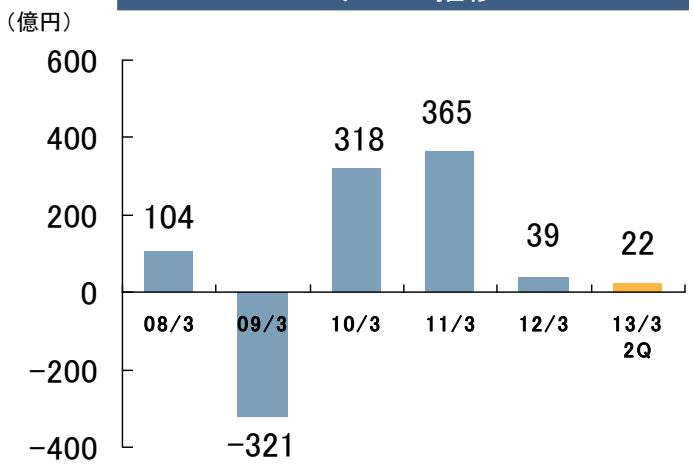
（単位：億円）

	12/3期 2Q(累)	13/3期 2Q(累)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	515	265	△249
税前利益	413	105	
減価償却費	250	224	
売上債権の増減額（△は増加）	△10	△68	
たな卸資産の増減額（△は増加）	△71	37	
仕入債務の増加額	10	△92	
法人税等の支払額	△152	△9	
その他	74	69	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△546	△243	303
固定資産の取得による支出	△520	△221	
その他	△26	△22	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54	△60	△ 5
長短借入金の増減額（△は減少）	△19	△221	
社債の発行による収入	－	200	
配当金の支払額	△34	△39	
その他	△0	1	
現金等に係る換算差額	0	0	
現金等の増減額（△は減少）	△85	△37	48
現金等の期首残高	1,163	1,052	
現金等の期末残高	1,077	1,014	△63

営業CF推移



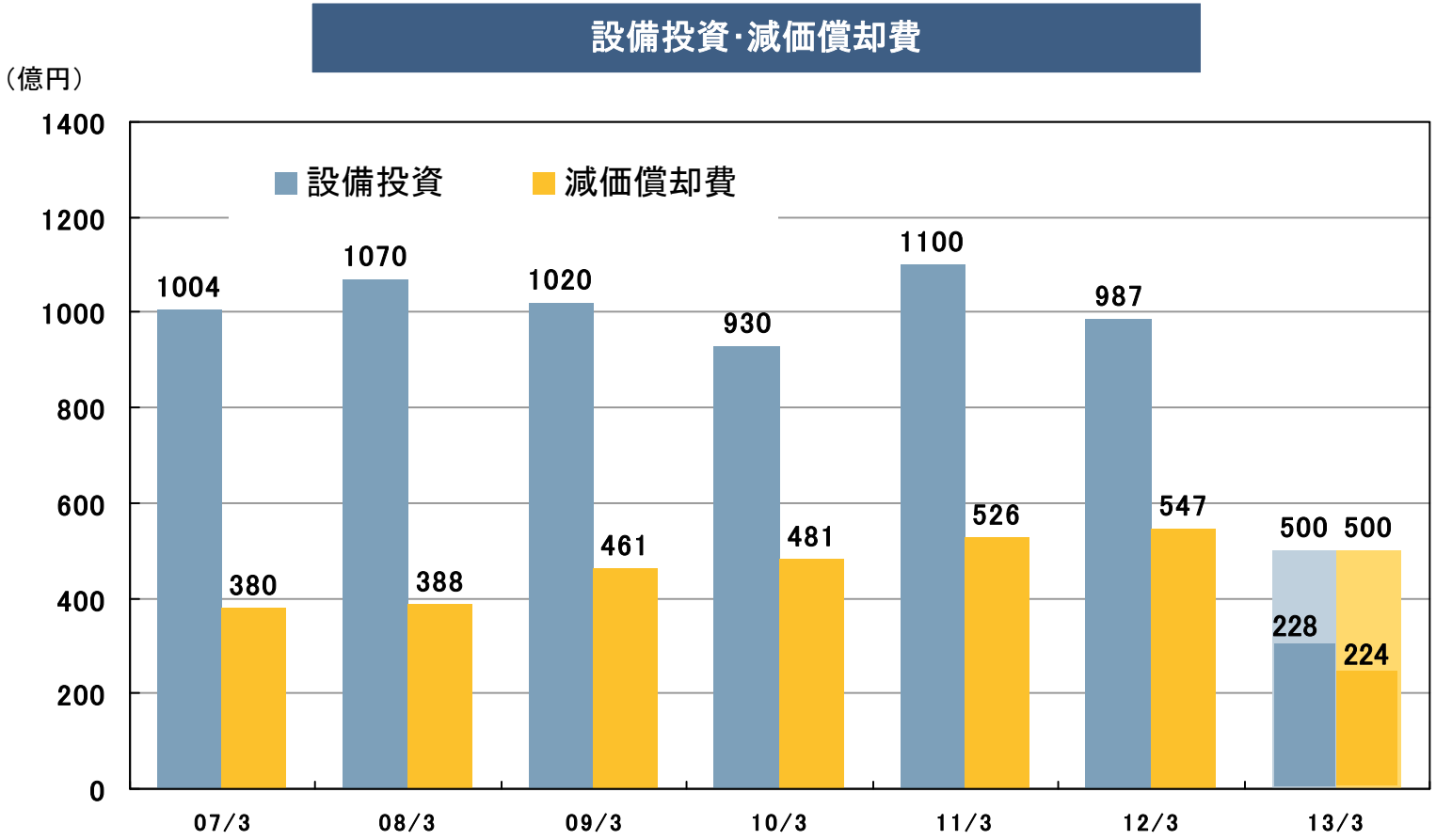
フリーCF推移



Copyrights©2012 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

設備投資・減価償却費の見通し

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子



設備投資	設備を増やさず、需要に対応 （設備当たりの生産を増やす） 期初見込から変更なし （減価償却費並みに）
減価償却費	期初見込から変更なし

Copyrights©2012 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

課題と業績予想

Copyrights©2012 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

足下の事業環境

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

概況	■ 世界の経済環境は厳しく、電子・情報、自動車などの関連市場減速 ■ 当社事業も、3Q以降不透明感増す。費用圧縮・生産性改善で利益確保へ ■ 液晶は設備当たりの生産を増やすことで設備の余剰を作り、これらを海外展開、設備の転用、新材質開発などにつなげる ■ 不採算事業・製品の整理を進める
海外展開	■ 日本での事業環境は厳しい（六重苦） ■ 海外市場の拡大、技術進化の加速。需要地での生産が、より重要に ■ 市場や得意先の動向、コストなどを念頭に海外展開を検討中 ■ 電気硝子コリアで、韓国市場でのポジションを強化
原燃料・為替	■ 主力分野は円建取引（為替変動リスク低い、一方、値下げ圧力懸念） ■ 原料はコストダウンできているが、燃料はコストアップ ■ 事業の海外シフトを推進（液晶、ガラスファイバ、医療用管ガラスなど）
電力対応	■ 今夏、10年度夏比、△20%の節電（自家発電、在庫積増し、工事のシフト） ⇒ コストアップは避けられなかったが、得意先への出荷には影響なく対応 ■ 計画停電を憂慮。今後も節電要請があれば柔軟に対応

Copyrights©2012 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

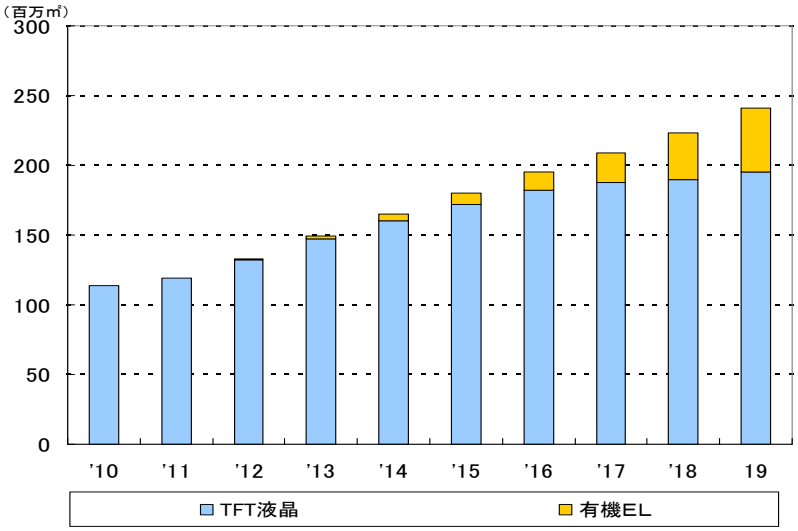
ディスプレイ用ガラスの課題

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

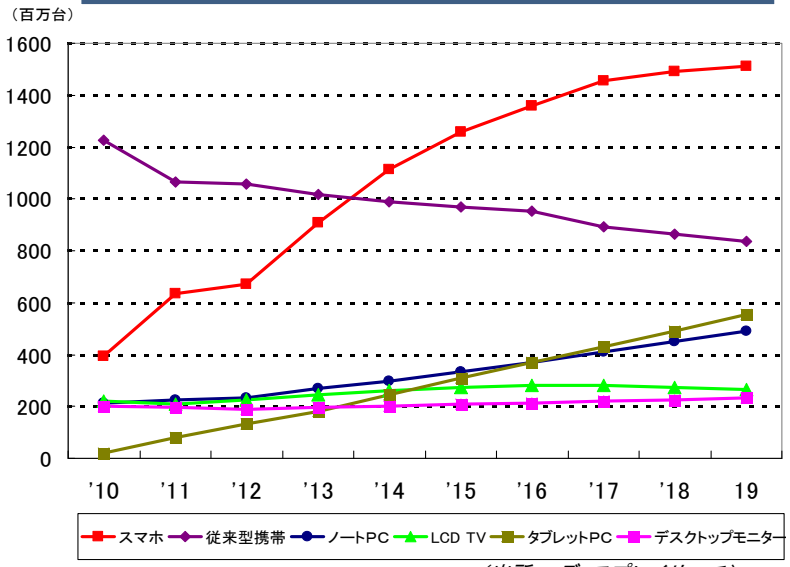
- 新材質（OA－11）の量産、拡販の推進
- 超高精細パネル向けの新たな開発推進
  （有機EL、LTPS、IGZO、4KTVなど）
- カバーガラスの採用機種・顧客拡大、新材質拡販
- 電気硝子コリアの迅速な立上げ
- タッチパネルの技術進化に対応
- 「見えないガラス」のディスプレイ用途の開発

液晶用基板（G11-0.5mm厚）

FPD技術別市場（面積）



ディスプレイ世界市場（数量）



（出所： ディスプレイサーチ）

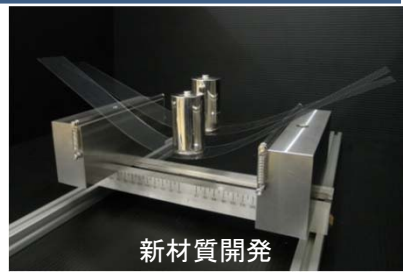
Copyrights©2012 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

将来を見据えた取り組み～成長期待分野の現状(1)

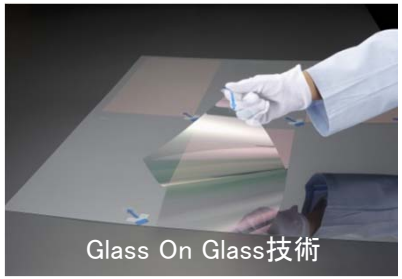
ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

次世代ディスプレイ

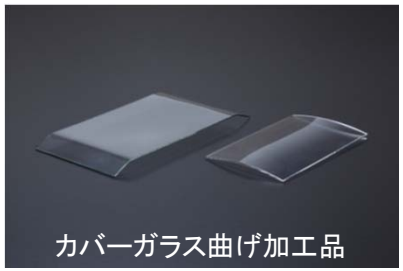
■ 超高精細パネル用基板:
- 超低コンパクション
  超大型・薄板、低たわみ
  の開発


新材質開発

■ 超薄板ガラス:
- Glass On Glass技術の開発
- ロール巻き技術・用途の開発


Glass On Glass技術

■ 高機能カバーガラス:
- 更なる新材質の開発
- 高付加価値化の推進

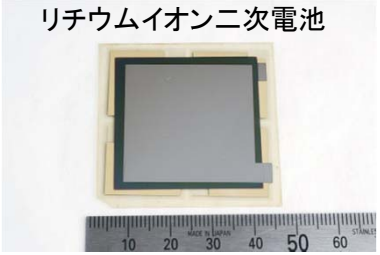

カバーガラス曲げ加工品

■ 「見えないガラス」:
- For タブレット
- For ディスプレイ

「見えないガラス」For ディスプレイ

エネルギー

■ 太陽電池用基板:
- 複合電池、色素増感
  向けなどの開発



■ 高機能ミラー:
- 超薄型フレキシブル
  太陽光反射ミラー
  (JAXA向けの開発等)

超薄型フレキシブル
太陽光反射ミラー

■ 電極材料:
- 正極材、負極材の開発

電極材料

Copyrights©2012 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

将来を見据えた取り組み～成長期待分野の現状(2)

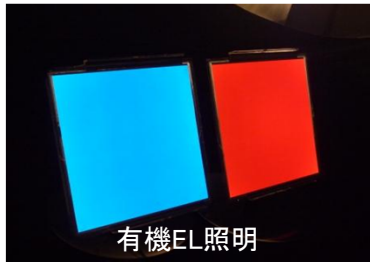
ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

新照明

■ 蛍光体ガラス:
- 高輝度LED照明用、高出力レーザー光用の開発（一部市場で出荷スタート。他用途への積極展開）

蛍光体ガラス

■ 有機EL照明用:
- 顧客にてサンプル評価中
- 超薄板ガラスの応用
- ガラス-樹脂の複合品の開発


有機EL照明

医療

■ 放射線遮蔽用:
- 調光式防護衝立の開発
- ARコート品の開発

■ 高度医療用器材:
- 高機能管ガラスの新興国向け拡販、及び開発

調光式放射線防護衝立

その他

■ ガラスファイバ:
- HV、EV用ｽｰﾊﾟｰｴﾝﾌﾟﾗ向けの開発

チョップドストランド

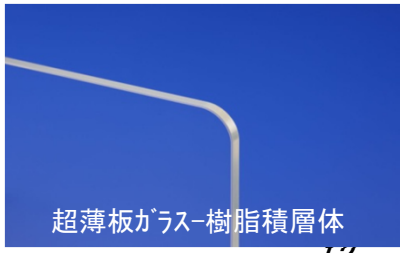
■ 建築材料:
- 高機能防火戸の拡販・開発
- 「見えないガラス」の展示用途への展開

「見えないガラス」施工例

■ 液晶レンズ:
- 事業化に向け開発加速（量産プロセスの確立）

液晶レンズ

■ 超薄板ｶﾞﾗｽ-樹脂積層体:
- 「貼り合わせ」技術の確立
- ARコート品の開発


超薄板ｶﾞﾗｽ-樹脂積層体

Copyrights©2012 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

連結業績予想

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

（単位：億円）

	12／3期			13／3期	
	2Q累計	3Q累計	通期	2Q累計	3Q累計（予想）
売上高	1, 843	2, 648	3, 382	1, 513	2, 200～2, 300
営業利益	475	591	616	167	220～270
経常利益	457	544	568	149	190～240
純利益	248	274	194	46	70～100

＜配当について＞

- 中間配当　8円
- 期末(予想)　8円
- 年間(予想)　16円

3Q予想のポイント

- 液　晶　：スマホ、タブレットの底堅い需要の一方、年末にかけて弱含みの懸念
- フロート　：PDP数量減で厳しい運営続くが、合理化を更に進め損益を改善
- 電子部品　：季節要因により一服感。光部品は堅調を見込む
- ガラスファイバ：自動車部品向けの市場において調整局面続く
- 損益ほか　：価格動向、液晶新材質の立上げコストなどの影響。償却は若干増の見込み

今後の日程

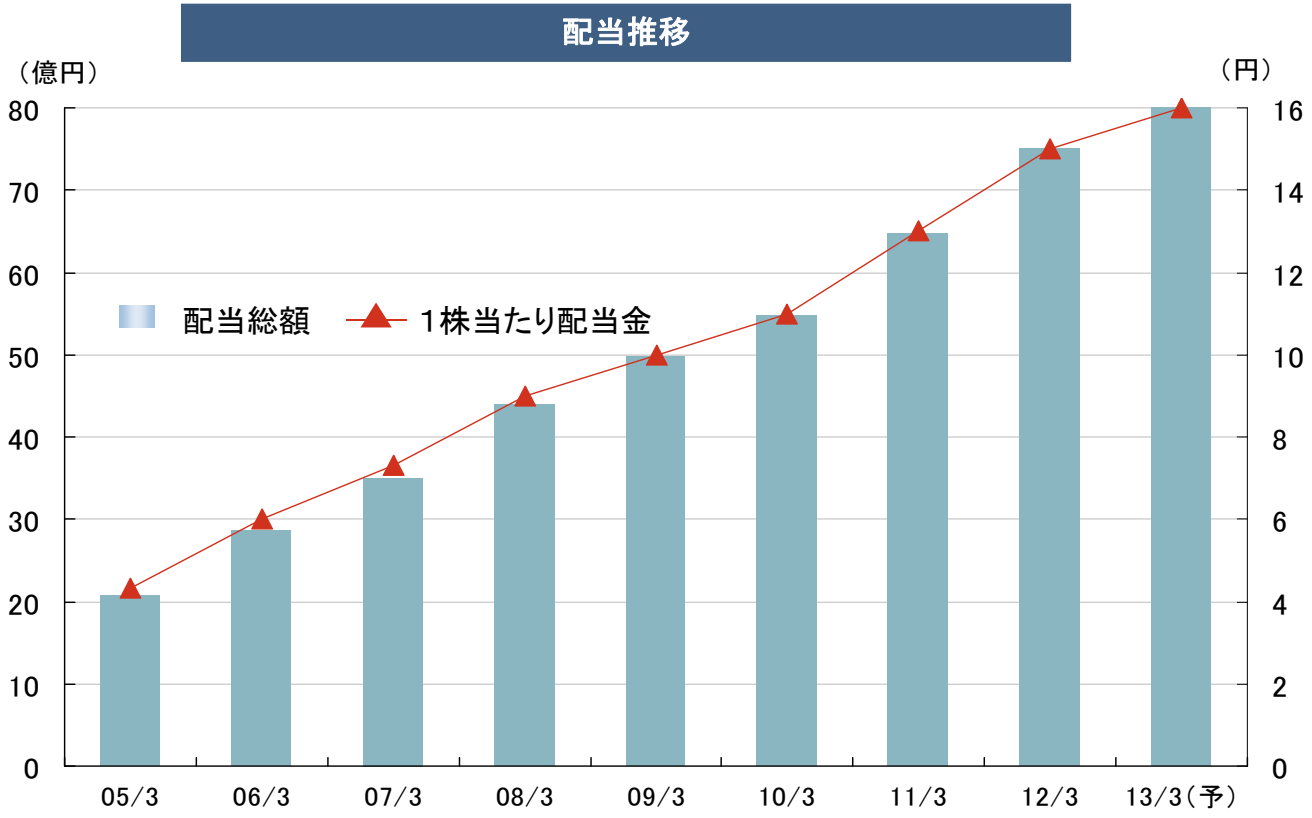
12月下旬	1月下旬	3月下旬	4月下旬
☆	☆	☆	☆
3Q実績見込	3Q実績 4Qレンジ予想	通期実績見込	通期実績 次1Qレンジ予想

Copyrights©2012 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

配当推移

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

利益配分の基本方針	■ 内部留保（企業体質強化、将来への備え） ■ 長期に安定した利益の還元



（注）各期を比較しやすいよう株式分割による影響を遡及して調整の上記載

Copyrights©2012 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

(参考)将来を見据えた取り組み

ハイテクガラスで未来をつくる 日本電気硝子

事業展開： 足下 → 中長期

既存分野

キャッシュ創出、 安定した経営基盤

ディスプレイ	液晶 カバーG	電子部品	イメージデバイス 光関連
		エネルギー	太陽電池基板
ｶﾞﾗｽﾌｧｲﾊﾞ	自動車 部品	耐熱・建築	住設、内外装 防火設備

取り組み：

- 「ディスプレイを強く、ノンディスプレイを大きく」
- 市場の動向・ニーズに即応（生産体制、開発）
- 競争力（生産性・コスト・技術・品質）を維持・強化

＋

成長期待分野

ポスト液晶育成、 持続的成長

次世代 ディスプレイ	有機EL 超薄板 高機能カバー	エネルギー	ソーラー関連 二次電池 電極材料
新照明	LED LD 有機EL	医療その他	高度医療用 電子部品 超薄板関連 薄膜

取り組み：

- R&Dを積極推進
- 市場への訴求
- ディスプレイへのこだわり

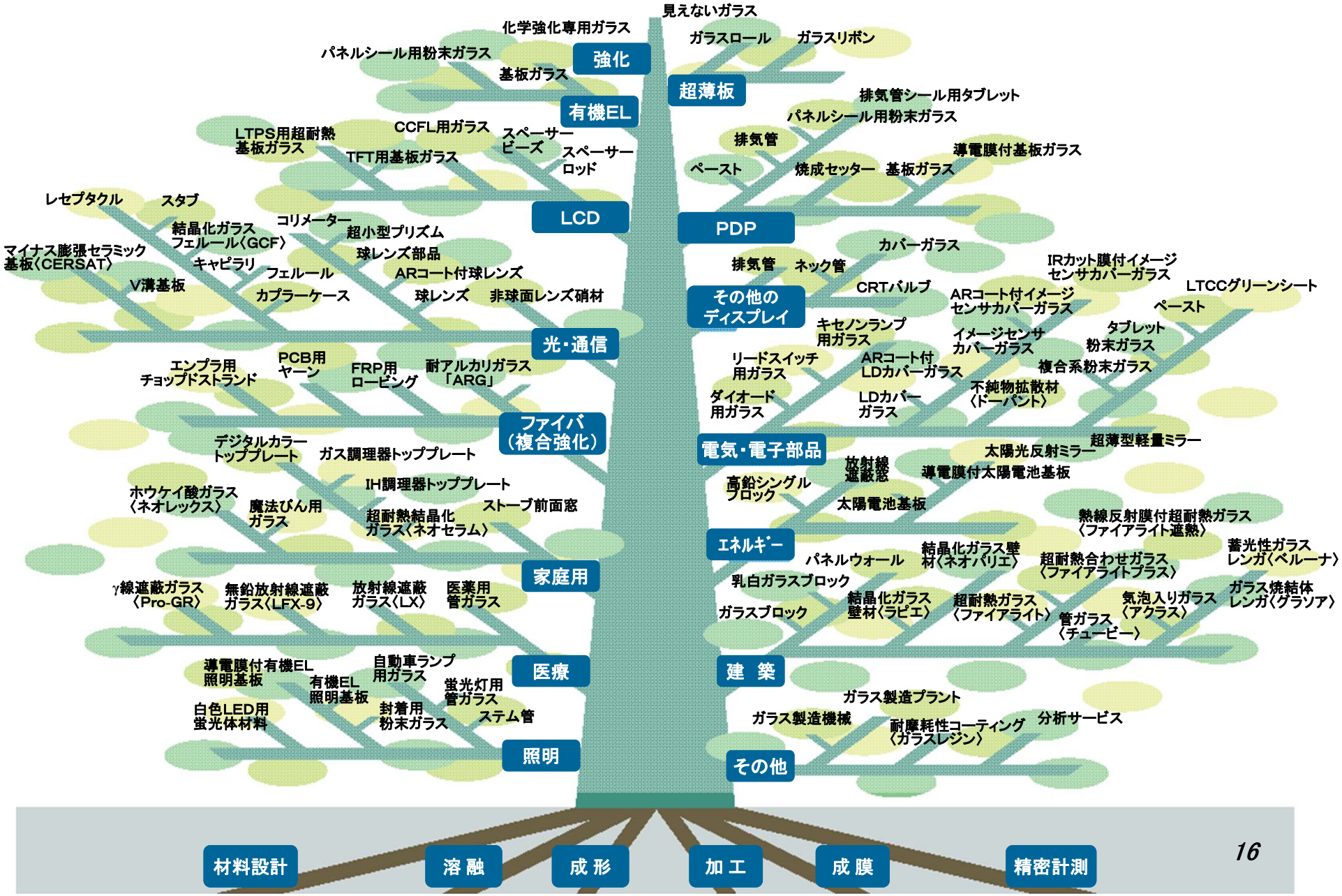
複合化技術（結晶化・成膜・貼り合せ・・・）

ガラスの基盤技術： 材料設計 ＋ プロセス（溶融＋成形＋加工） ＋ 評 価

Copyrights©2012 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

(参考)未来へ向かう日本電気硝子の「ガラスの樹」

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子



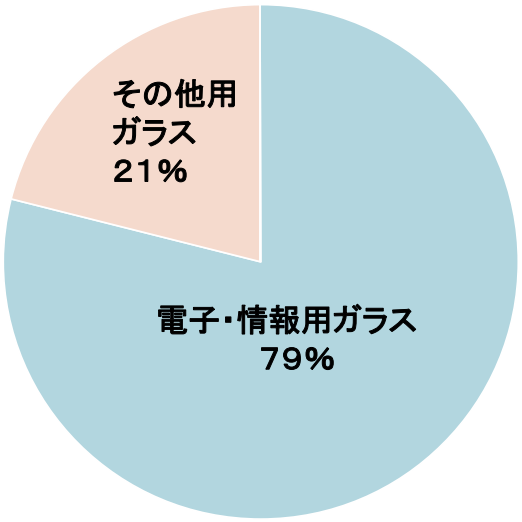
(参考)日本電気硝子の概要

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

社名	日本電気硝子株式会社
本社所在地	滋賀県大津市
創立年	1949年
資本金	321億円

事業内容	特殊ガラス製品およびガラス製造機械の製造・販売
事業場	大津／藤沢／滋賀高月／能登川／若狭上中／ 精密ガラス加工センター
連結子会社	22社

売上構成（13／3期　2Q累計）



主要な事業内容

電子・情報用ガラス	FPD	LCD：基板ガラス、ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ用ｶﾞﾗｽ PDP：基板ガラス、ガラスペースト
	ブラウン管用	ブラウン管用ガラス
	光関連	光ファイバ接続用ｷｬﾋﾟﾗﾘｰ/ﾌｪﾙｰﾙ 球ﾚﾝｽﾞ/ﾚﾝｽﾞ部品／非球面ﾚﾝｽﾞ硝材
	電 子ﾃﾞﾊﾞｲｽ用	粉末ガラス 板ガラス 管ガラス
	太陽電池用	太陽電池用ガラス
	カバーガラス用	化学強化専用ガラス
その他用ガラス	ガラスファイバ	機能樹脂用チョップドストランド プリント配線基板用ヤーン 強化ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ用ﾛｰﾋﾞﾝｸﾞ 耐アルカリ性ガラスファイバ
	建築用	ガラスブロック 結晶化ｶﾞﾗｽ建材<ﾈｵﾊﾟﾘｴ>・<ﾗﾋﾟｴ> 防火設備用ガラス<ファイアライト> 放射線遮へい用ガラス ｲﾝﾃﾘｱ/ｴｸｽﾃﾘｱ用ガラス
	耐熱用	超耐熱結晶化ガラス＜ネオセラム＞ 耐熱ガラス＜ネオレックス＞
	その他	照明用ガラス 医薬・理化学用ガラス 魔法びん用ガラス ガラス製造機械

Copyrights©2012 Nippon Electric Glass Co., Ltd.

予想に関する留意事項

◆ 本資料に記載されている業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。

◆ 実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

Copyrights©2012 Nippon Electric Glass Co., Ltd.